

# 三重大学附属図書館研究開発室 平成24年度事業報告

## I. 事業の概要

### 1. 附属図書館及び環境・情報科学館の学習支援環境の整備・支援

平成24年度に開館した環境・情報科学館のラーニングコモンズおよびPBL演習室における学生の授業内外の情報利用行動について、兼務教員、協力教員、専任教員が調査研究を行なうとともに、国内の図書館情報学関係の学会および高等教育関係のフォーラムで成果を発表した。

環境・情報科学館および改修中の附属図書館におけるラーニングコモンズやPBL演習室の効果的な運用のあり方を検討するために、専任教員および協力教員が、お茶の水女子大学、成蹊大学、明治大学和泉図書館、立教大学でラーニングコモンズの訪問調査を実施し、建築計画学および図書館情報学の観点から、関係者に効果的な設計や運用に関する聞き取りを行なった。

### 2. 学術情報リテラシー支援

平成24年度についても、専任教員が図書館員とともに、構築中の情報リテラシー教育のモデルの実現性を検討しながら、スタートアップセミナー（工学部建築学科）および学部の専門教育（工学部建築学科の2科目）で科目関連指導を実施した。

平成23年度に採択された大学マネジメント人材育成プログラム（東北大学とカナダのクイーンズ大学との共同プロジェクト）の一環で作成していた改革計画に、平成24年度の進捗状況を加えて報告書を作成した。

平成23年度にひきつづき、専任教員が、図書館が提供する学習支援の実情や成果を把握するために、ピア評価を行なった。具体的には、専門教育の2科目で授業観察を実施し、学生の情報探索行動を調査した。そのプロセスと成果については、上記の報告書で報告をした。

### 3. 学術機関リポジトリ構築支援

学術機関リポジトリ（MIUSE）構築についての情報収集及び登録促進への取組について支援し、九州大学・筑波大学・一橋大学との連携による国立情報学研究所委託事業「文献自動収集・登録ワークフローシステムの開発」への助言を行った。

### 4. 附属図書館所蔵資料に関する調査研究

附属図書館が所蔵する古文書資料のうち、多気郡佐田村で作成された古文書を中心とする文書群（武藤和夫氏の収集史料であることが判明）の整理を行い、調査カードを取り、目録化した。また、新たに見出した明治前期の浮世絵資料160点について調査・整理を行い、古文書史料でもある裏打ち紙、包紙に用いた古新聞を含め目録化した。いずれも解題を付している。このほか、三重大学学芸学部3年次学生が明治年間に作成した『三重県徳行家調査第一輯』のデータ化を進めた。（塚本明）

前年度に引き続き和本の調査を行った。和本の書誌情報をカードにとり、今年度のうちに

全体の七割五分ほどの調査が完了した。漢籍の整理にもとりかかった。帙に四部分類のシールを貼り、帙のない本には紙帙を用意した。井上進輯『三重大学漢籍目録』のデジタル化を行い、基本的なデータ入力を終了させた。（吉丸雄哉）

## 5. 歴史的・文化的・社会的資産データ集積事業の整備

三重県史編さんグループと協働して、三重県関係の歴史的・文化的資産データ集積事業（平成19年度から開始）を継続して実施し、今年度は『三重斯民』『津市民文化』等の雑誌を検索すると共に、これまで集積した調査カード約2000点のデータ入力を行った。

また、博学連携推進室と協力して、海の博物館が所蔵する海女の歴史的写真（主に志摩地域）について調査を行い、保存・収集のために約7000枚についてデジタル化を行った。

## 6. 「大学の知」に関する地域との連携及び地域への還元活動

### ○海女研究会の運営

県立博物館、海の博物館と大学（図書館）が連携した調査研究活動の一環として、海女研究会の運営に当たった。今年度は5回の研究会を開催し、活発な議論を行った。

#### （海女研究開催記録）

平成24年4月23日(月) 15:30～

場所 県立博物館 レクチャールーム

内容 杉山亜有美(三重大学大学院生)「近世・近代の海女漁における資源管理について  
－江戸期の管理制度と組合規則への継承－」  
伊藤芳正(伊勢志摩国立公園自然ふれあい推進協議会事務局長)「先島の海女－  
和具を中心に－」

---

平成24年6月25日(月) 15:30～

場所 県立博物館 レクチャールーム

内容 小濱学(三重県文化財保護課)「(三重県教育委員会)海女習俗基礎調査の概要」  
コメント:原田泰志、石原義剛

---

平成24年8月27日(月) 15:30～

場所 県立博物館 レクチャールーム

内容 石原義剛(海の博物館館長)「濟州島と志摩の海女・アワビに関する資料」  
菅原洋一(三重大学工学研究科)「韓国濟州島の海女文化」  
川口祐二(三重大学客員教授・エッセイスト)「日韓海女フォーラム参加報告」

---

平成24年10月29日(月) 15:30～

場所 県立博物館 レクチャールーム

内容 川又俊則(鈴鹿国際短期大学)「真珠島で活躍する若手海女」  
小島孝夫(成城大学)「日本における海女漁の存立をめぐる－海女の加齢と熟練」

---

平成 24 年 12 月 17 日(月) 15:30～

場所 県立博物館 レクチャールーム

内容 泉正幸(鈴鹿国際短期大学)「浦村地域の若者が集まる寝屋子制度」  
川口祐二(三重大客員教授・エッセイスト)「豊後の海に潜く人たち」

○? 「発見塾」三重大学シリーズに関する協力

? 「発見塾」(主催津市教育委員会・津市民文化祭実行委員会、主管津文化協会)は教育・研究の拠点、三重大学を市民の目線で理解し、より多く知ろうという、津市民の思いから始められた講演会シリーズであり、また、津市における市民の文化集積の場として三重大学を理解いただき、地域と大学の信頼関係を構築することもねらいとなっている。この企画・運営に協力し、今年度は6回の講演会を開催した。

(? 「発見塾」記録)

平成 24 年 5 月 26 日(土) 13:30～

場所 津リージョンプラザ 2 階健康教室

内容 森 正人(三重大学人文学部)「四国遍路とは? —近現代から考える—」

---

平成 24 年 7 月 28 日(土) 13:30～

場所 津市河芸公民館第1会議室

内容 滝和郎(三重大学理事・副学長)「脳卒中:なぜ発症するのか?」

---

平成 24 年 9 月 29 日(土) 13:30～

場所 津市美里社会福祉センター ホール

内容 滝和郎(三重大学理事・副学長)「脳卒中:なぜ発症するのか?」

---

平成 24 年 11 月 17 日(土) 13:30～

場所 津リージョンプラザ 2 階健康教室

内容 木村 清志(三重大学生物資源学研究所・生物資源学部水産実験所所長)「おいしい魚・珍しい魚・奇妙な魚—熊野灘の魚紳士録」

---

平成 25 年 1 月 29 日(土) 13:30～

場所 津リージョンプラザ 2 階健康教室

内容 松浦 健治郎(三重大学工学研究科)「みんなでつくる津のまちづくり」

---

平成 24 年 3 月 16 日(土) 13:30～

場所 県立博物館 レクチャールーム

内容 矢野賢一(三重大学工学研究科)「超高齢化社会が求める福祉ロボットの現状と課題」

---

## Ⅱ. 室員の活動

### ■【地域貢献】

- ・桑名市教育委員会 第7回 桑名市「図書館を使った調べる 学習コンクール」 審査委員(委員:長澤多代)
- ・桑名市教育委員会 図書館協議会(副会長:長澤多代)
- ・津市子ども読書推進協議会(津市子ども読書推進実行委員会)(副会長:三根慎二、委員:磯谷峰夫)
- ・津市図書館協議会(副会長:三根慎二)
- ・津市教育委員会・学校図書館運営研修講座 三根慎二「今の学校図書館をよりよい学校図書館に:空の下で考える(アイデアキャンプ)」平成24年11月9日(於:環境・情報科学館)
- ・三重県図書館協会ネットワーク部会(部会長:三根慎二, 委員:河谷宗徳)

### ■【個人研究】

- ・長澤多代「大学教育における教員と図書館員の連携の構築に関する比較研究」科学研究費補助金(基盤研究C)(2012年度~2014年度).
- ・菅原洋一「明治期商家銅版画資料に関する歴史情報学的研究」科学研究費補助金(挑戦的萌芽)(2012年度~2014年度).

### ■【論文】

- ・長澤多代「大学教育における教員と図書館員の連携を促すカスタマイズ型の学習支援:アールム・カレッジのケース・スタディをもとに」[論文]『日本図書館 情報学会誌』Vol.58, No.4, 2012.12, p.185-201.
- ・KHASAWNEH Fahed A., KATO Akikazu, MORI Shiho and NAGASAWA Tayo. "Problem-Based Learning as a New Place Maker in Campus Learning Space: Behavioral Studies of Student Collaborations and Group Dynamics." Proceedings of the 43rd Annual Conference of the Environmental Design Research Association. 2012, p.60-66.

### ■【報告等】

- ・長澤多代「能動的な学習を支援する学習環境:大学図書館とラーニングコモンズ1~4」『教育学術新聞』No.2487~2490(学習環境デザインで能動的な学習を支援する,2~終),2012.6.27~7.18.

### ■【研究発表(口頭発表)】

- ・加藤彰一,毛利志保,長澤多代。「三重大学における新しいPBL教育空間に関する研究」(オーラルセッション:課題解決型学習の可能性)大学教育 改革フォーラム in 東海 2013,2013.3.2.
- ・塚本明「三重の海女の歴史」(多くのひとに「海女文化」を伝えるためのフォーラム,東京都虎ノ門・日本財団ホール 2012.11.30)
- ・塚本明「志摩海女の歴史と文化」(志摩文化フォーラム,志摩市商工会館 2013.2.7)
- ・三根慎二「ラーニング・コモンズはどのように利用されているか:三重大学における事例調査」(2012年度三田図書館・情報学会研究大会. 慶應義塾大学. 2012.10.6)
- ・Yoshinori Sato, Kenji Koyama, Shinji Mine, Keiko Kurata, Hiroshi Itsumura, Hiroya Takeuchi, Syun Tutiya "The Changes in Japanese Researchers' Usage and Perception of Electronic Resources: Result of

SCREAL Survey 2011.” (75th Annual Meeting of American Society for Information Science and Technology, Baltimore, Maryland, 2012.10.29)

- ・小山憲司, 佐藤義則, 倉田敬子, 逸村裕, 三根慎二, 竹内比呂也, 土屋俊.「日本の研究者による学術情報の利用実態とその変化:SCREAL2011 調査の分析.」(第60回日本図書館情報学会研究大会, 九州大学, 2012.11.17)
- ・菅原洋一, 吉村利男「シンポジウム津のまちを復元する」(あかつ画廊, 2013.3.20)
- ・菅原洋一, 吉村利男「郷土が生んだ二大先覚者の一人「5世伊藤小左衛門」」(四日市市四郷地区市民センター2013.3.30)

#### ■【招待講演】

- ・長澤多代「主体的な学びのベースとなる大学図書館の学習空間とサービス:ラーニングコモンズと情報リテラシー教育を中心に」[小講演]京都大学高等教育研究開発推進センター・第19回大学教育研究フォーラム, 京都大学, 2013.3.15.
  - ・長澤多代「大学図書館が実施する学習支援・教育支援サービス:北米の事例から見えるもの」[講演] / 近田政博, 山田政 寛, 長澤多代, 橋洋平, 森部圭亮, 仲秋雄介, 池上佳芳里, 高橋里江, 神谷知子「海外大学図書館にみる学習支援」[パネルディスカッション(パネリスト)]平成24年度・第1回東海地区大学図書館協議会研修会, 名古屋大学, 2012.12.13.
  - ・長澤多代「学生の学習を促す学習支援環境としての大学図書館:ラーニングコモンズの効果的な設計と運用を中心に」[講演]全学FD研修会「学習支援・自主学習を促すための教育環境」, 聖隷クリストファー大学, 2012.12.5.
  - ・佐々木奈三江「図書館を使った学習支援:徳島大学附属図書館「ラーニング・コモンズ」の事例から」, 長澤多代「図書館を利用した学習支援:教員と図書館員が連携した授業設計」[講演]平成24年度・第2回大学開放実践センター特別研究会 / 全学FD推進プログラム・第3回FD・SDセミナー, 徳島大学, 2012.11.30.
  - ・長澤多代「大学図書館による教育の質保証への貢献:期待される学習支援・教育支援サービス」[講演]近畿地区四教育大学附属図書館連携事業, 大阪教育大学, 2012.10.31.
  - ・長澤多代「教員と図書館員が連携する学術情報リテラシー教育」[講義]国立情報学研究所, 平成24年度学術情報リテラシー教育担当者研修, 大阪大学, 2012.10.25 / 国立情報学研究所, 2012.11.29.
  - ・長澤多代「協働する図書館:図書館員による教員とのつながり方の開拓」[講演]大学図書館問題研究会・第43回全国大会(京都), 第7分科会:利用者支援B, コミュニティ嵯峨野, 2012.8.5.
  - ・三根慎二.「オープンアクセスと機関リポジトリ」. 平成24年度機関リポジトリ新任担当者研修. 筑波大学, 2012.8.23 / 岡山大学, 2011.9.6
-

### Ⅲ. 組織

|                | 氏名    | 専門領域     | 所属・職名           |
|----------------|-------|----------|-----------------|
| 室長<br>(附属図書館長) | 滝 和 郎 | 脳神経外科学   | 理事(評価・情報担当)・副学長 |
| 専任室員           | 長澤 多代 | 図書館情報学   | 附属図書館研究開発室・准教授  |
| 兼務室員           | 塚 本 明 | 日本史学     | 人文学部・教授         |
| 兼務室員           | 菅原 洋一 | 日本建築史    | 工学研究科・教授        |
| 兼務室員           | 三根 慎二 | 図書館情報学   | 人文学部・講師         |
| 客員教授           | 石原 義剛 | 博物館学     | 海の博物館館長         |
| 客員教授           | 川口 祐二 | 漁村生活史    | エッセイスト          |
| 客員教授           | 吉村 利男 | 日本史学・考古学 | 三重県史編さんグループ・嘱託  |
| 協力大学教員         | 加藤 彰一 | 建築学      | 工学研究科・教授        |
| 協力大学教員         | 吉丸 雄哉 | 日本近世文学   | 人文学部・准教授        |
| 協力大学教員         | 毛利 志保 | 建築学      | 工学研究科・助教        |
| 学術アドバイザー       | 小山 憲司 | 図書館情報学   | 日本大学文理学部・准教授    |